

立命館大学技術士会 第15回総会 ご案内

令和 6年(2024年) 4月吉日
立命館大学技術士会 会長 土屋光弘

立命館大学技術士会会員各位

前略、会員の皆様方には如何お過ごしでしょうか？今年も元旦早々に能登半島沖を震源とするM7.6の大地震にはじまり、現在も懸命な復旧活動が継続中です。犠牲となられた方々にお悔やみを申し上げると共に、被災されたすべての方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、立命館大学技術士会は、2009年12月の設立以降、15年間その活動を継続してきました。これもひとえに会員皆様のご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。

この間、当会では①会員相互の親睦②大学の発展に貢献③会員の技術レベルの向上と会の発展・拡大④技術士を目指す母校後進への支援⑤地域および社会活動への技術支援、助言等を志向するなど、その活動も定着してきました。

また、設立当初から技術士の受験指導を毎年継続し、延べ46名の技術士を輩出しました。さらに大学では6月に「めざせ！技術士」、7月には「立命技術士懇談会」を開催し、公務員・ゼネコン・コンサルそれぞれの立場で活躍する会員技術士が、学生達に卒業後の技術者としての社会活動のあり方や実社会での経験談をお話しています。こうした活動内容のご報告と本会へのご意見を賜るため、第15回総会および講演会、親睦会を開催いたします。会員皆様方には奮ってご参加ください。

記

1. 開催日時 : 令和 6 年 5 月 25日(土)
2. 開催場所 : (一社)中央電気倶楽部 (215号室)、親睦会は3F大食堂
3. 開催内容 : 総会 13:00~14:00
講演会 14:00~17:00
親睦会 17:00~18:30
4. 回答期限 : 総会、講演会、親睦会参加の有無は5月20日(月)までに、返信用データにて下記、企画・窓口担当のメールアドレス又はFaxにてご回答ください。

なお、講演会は、会場およびZoomを使用したWeb併用で開催いたします。講演会参加希望者は必ず、連絡用メールアドレスを企画・窓口担当メールアドレス又はFaxでお知らせください。講演会開催の前日に、参加用URLをお知らせします。ただし、講演会は時間の都合上、当日は聴講のみで質問等は受付出来ません。

事務局 企画・窓口担当 E-mail rits.kikaku.mado@gmail.com

URL: <http://alumni.ritsumeijp/gijutsusikai/>

Fax : 075-951-1304

立命館大学技術士会 第15回総会 次第
2024年 5月25日(土)
13:00 ~ 17:00
(一社)中央電気倶楽部 215号室

第 15 回 総 会 (13:00~14:00)

- ① 開会および司会挨拶…………… 事務局
- ② 会長挨拶 …………… 土屋光弘会長
- ③ 議長選出 …………… 会則により会長
- ④ 議案審議 …………… 1) 第1号議案
第14期事業報告
……………事務局(幹事長)
2) 第2号議案
第14期決算報告および監査報告
……………事務局(幹事長、会計監事)
3) 第3号議案
第15期事業計画(案)および予算(案)
……………事務局(幹事長)
4) 第4号議案
第15期役員人事(案)
……………事務局(幹事長)
- ⑤ その他 …………… 令和5年度技術士合格者紹介
- ⑥ 閉会の辞 …………… 事務局

以上

講 演 会

- ① 三橋 功治 様 (14:00~15:30)

(株)三^{みたか}隆国際気象 代表取締役 気象予報士

演題：「住民に対して行っている気象/防災講演について」
～住民の命と財産を守るために～

- ② 矢野 桂司 様 (15:30~17:00)

立命館大学文学部 人文学科 地理学専攻教授

演題：「バーチャル京都による空間人文学の展開」

- < 第 2 部 > …… 親睦会 (17:00~18:30)

会 費：1人 5,000円

会場は、中央電気倶楽部 3F 大食堂

講演者紹介および講演概要

講演1. 三橋 功治(みつはし こうじ)

(株)三隆国際気象 ^{みたか}代表取締役 気象予報士

演題：「住民に対して行っている気象/防災講演について」

～住民の命と財産を守るために～

概要： 私は講演活動を行って約12年が経過した。講演を始めた頃は、「天気予報の見方」や「雲と天気」などの内容で講演を行っていた。しかし、私の講演の内容は、受講者にとってあまり興味ない内容であることに最近気付いた。講演が始まる前や講演終了時に、雑談で受講者と話をすると、受講者の多くは「気象現象」ではなく、「災害をどのように乗り越えるのか」ということに一般の人は興味を持っているようである。

さらに、今年の元日に発生した地震の様子を見て、私は、講演内容を大幅に変更し、「平時からどのように災害に備えるのか」をテーマにして講演を行うようにした。

一般の人から私は「避難のために何を備蓄すれば良いのか」と質問されるが、この質問の答えは、私が持っているのではなく、質問した人自身が持っているはずである。災害で避難しなければならなくなった時のことを各自がイメージし、「災害時に自分に何が必要なのか」を自身で考えることが重要だと考えている。

今回の発表で、私の講演内容について紹介させていただき、多くの方からご意見をいただき、今後の活動に役立てたいと考えている。

学歴： 1976年 兵庫県立星陵高等学校
1979年 東京理科大学理学部物理学科

職歴： 1983年 財団法人日本気象協会岡山支部
1988年 財団法人日本気象協会関西本部
1999年 財団法人日本気象協会事業本部
2000年 財団法人日本気象協会MICOS本部
2002年 財団法人日本気象協会関西支社
2005年 財団法人日本気象協会中国支店
2006年 株式会社ジェイウェザー大阪営業所
2009年 三隆国際気象創業
2012年 兵庫県立高等学校
2014年 株式会社三隆国際気象設立

講演者紹介および講演概要

講演2. 矢野 桂司(やの けいじ)

立命館大学文学部人文学科 地理学専攻教授
専門は、人文地理学、地理情報科学、デジタル人文学

演題：「バーチャル京都による空間人文学の展開」

概要： 歴史都市京都の多種多様かつ膨大な地理空間情報を紹介しながら、新しい空間人文学の展開を紹介する。とりわけ、平安時代から、江戸期、近代、戦後の占領期、そして、現在までの京都をGISとVR技術を用いて探索する。

1961年 兵庫県生まれ 博士(理学)
学歴： 1988年 東京都立大学大学院理学研究科地理学専攻博士課程中退
1988年 東京都立大学理学部助手
1992年 立命館大学文学部助教授を経て、2002年から現職

主な役職： 日本学術会議第一部会員
人文地理学会会長
地理情報システム学会元会長
日本地理学会理事
立命館大学アート・リサーチセンター副センター長、 など

主な図書： 『地理情報システムの世界』(1999)ニュートンプレス
『デジタル地図を読む』(2006)ナカニシヤ出版
『バーチャル京都』(2007)共編、ナカニシヤ出版
『京都の歴史GIS』(2011)共編、ナカニシヤ出版
『GIS 地理情報システム』(2021)創元社、 など

一般社団法人 中央電気倶楽部案内図

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2丁目1番25号

TEL 06-6345-6351 (代)

FAX 06-6345-6877

- 大阪駅より徒歩12分
JR北新地駅より7分
- 地下鉄四つ橋線
西梅田駅より6分
(堂島地下街南詰
C-93番出口を出る)
- 京阪中之島線
渡辺橋駅より5分
- 印は自動車の一方通行

